

早稲田大学 人間科学部 日本史 講評

〔総合分析〕

出題形式	マーク式
試験時間	90分
特徴・その他	本学部は「該当するものがなければ、カをマークせよ」のせいで、難易度が非常に高くなっている。しかも試験時間・問題数ともに多く、日本史の学習成果が多いに試される学部である。

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
I	日本史上の時代名称	難問は問1・4。のっけから「カ」はないだろうと考えた受験生がいるようだが、変な自分ルールはやめるべき。「古モンゴロイド」がめったに出題されない用語なので難しかったが、教科書のアタマに出てくる用語なので、覚えていた人も多かったのではないだろうか。	標準
II	中世の女性史	問8がやや難しいが、消去法で絞り込めるだろう。問7を難しく感じた受験生がいるかもしれないが、早稲田の傾向をつかんで対策を取っていれば、おいしく正解できる問題であった。	やや易
III	江戸時代の経済	問3・4・7の難問の他にもやや難しい問題がいくつもあり、大変レベルの高い問題となっている。正誤問題には用語だけでなく、正しい歴史理解がないと判別できない問題もあって、痛手を被った受験生も多いだろう。受験日本史に対する取り組み方を変える必要性に気づいてほしい。	難
IV	十五年戦争	問9・11が難問。これ以外にも難しく感じたところがあるかもしれないが、早稲田では定番テーマからの出題なので、ぜひとも正解したい。	やや難
V	古代～現代の教育史	問16は難問。問3が解けなかった人には、足利学校の校長が「快元」であったことが1997年の政治経済学部でも出題されていたことをお伝えしたい。もっとも「玄恵」の活躍した時期と「上杉憲実」が活躍した時期を考えるだけでも正解できた。日本史は単に用語を暗記する教科ではない。	標準